

# 未来への遺産

兵庫県

地形・地質の博物館

「山陰海岸ジオパーク」



「はさかり岩」。2本のロウソクのような岩にはさまった球状の岩は、洞門の天井部が崩れ落ちる途中でひっかかって止まったものと考えられ、約2000万年前の火山噴出物です。

「山陰海岸ジオパーク」は、山陰海岸国立公園を中心に、東は京都府京丹後市の経ヶ岬から、西は鳥取県鳥取市の白兎海岸まで、京都府、兵庫県、鳥取県の三府県にまたがるエリアです。山陰海岸ジオパークでは、貴重な地質遺産を含む豊かな自然を保全するとともに、教育や観光での活用を通じた地域の活性化に向けた取り組みを盛んに行っています。

このジオパークの特徴は、一言で言えば「地

形・地質の博物館」です。ここでは、約二千五百万年前にさかのぼる日本海形成にかかわる多様な火成岩類や地層、日本海の海面変動や地殻変動によって形成されたりアス式海岸や砂丘を始めとする多彩な海岸地形など、貴重な地形・地質遺産を数多く観察することができます。

世界レベルのジオパークを目指して、昨年度からは、旅館の女将や遊覧船の船長など地域の方々を対象に、ジオパークの魅力を伝える案内人として活躍してもらおうと、ジオガイド養成講座を開催。この四月には、地質学的な研究とともに、ジオパークを活用した教育・普及活動を促進するため、兵庫県立大学にジオ環境研究



カヌーによって海から観察する「ジオカヌーツーリング」



ジオガイドも熱のこもった説明をする「玄武洞」。160万年前の火山活動で、マグマが流れ出して固まるときに、規則正しい割れ目をつくりだしました。

部を設置しました。今後、新聞社と提携したモニターツアーや、ウォーキング・体験イベントを盛り込んだジオフェスティバル、ジオパークに関する食材を使ったジオグルメ選手権など、新たな企画も目白押しです。

世界ジオパークネットワークへの加盟認定に向け、八月には現地審査委員を海外から迎える予定です。世界に誇るこの山陰海岸ジオパークが、より多くの人に親しまれ、さらなる地域のにぎわいづくりにつながるようさまざまな取り組みを展開しています。

お問い合わせ

山陰海岸ジオパーク推進協議会

TEL 〇七九六一二六一三七八二